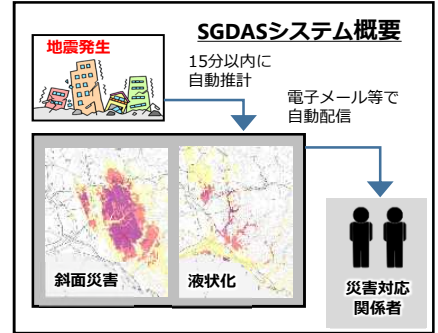


# SGDASの推計精度向上に関する研究

## 研究の背景・必要性

- 国土地理院は、震度5弱以上の地震発生後15分以内に斜面災害、液状化の概略発生位置と規模を推計・配信する「地震時地盤災害推計システム (SGDAS)」を運用。震度5強以上で国土交通本省、防衛省、都道府県等にも推計結果を配信。
- 推計結果は、防災ヘリ等の運用や空中写真撮影のコース設計など、地震時の初動対応のために活用されている。
- よりの確な初動対応に寄与するためには、降雨の影響や地盤災害の発生メカニズムに関する最新の知見を考慮して推計精度を向上させる必要がある。
- 地域の地形等の特性に合わせた柔軟な推計や、降雨の影響等に関する最新の知見を逐次反映可能とするため、最適なシステム実装形態に関する研究開発が必要。



## 本研究

### ①推計精度向上のための推計手法改良 (R3~7年度)

現システム(2012年)以降の最新の研究成果を踏まえ、新たに降雨の影響を考慮し、地形・地盤に関する追加情報も加味した推計モデルの再検討・構築及びそれらに必要なデータ収集・作成を実施。

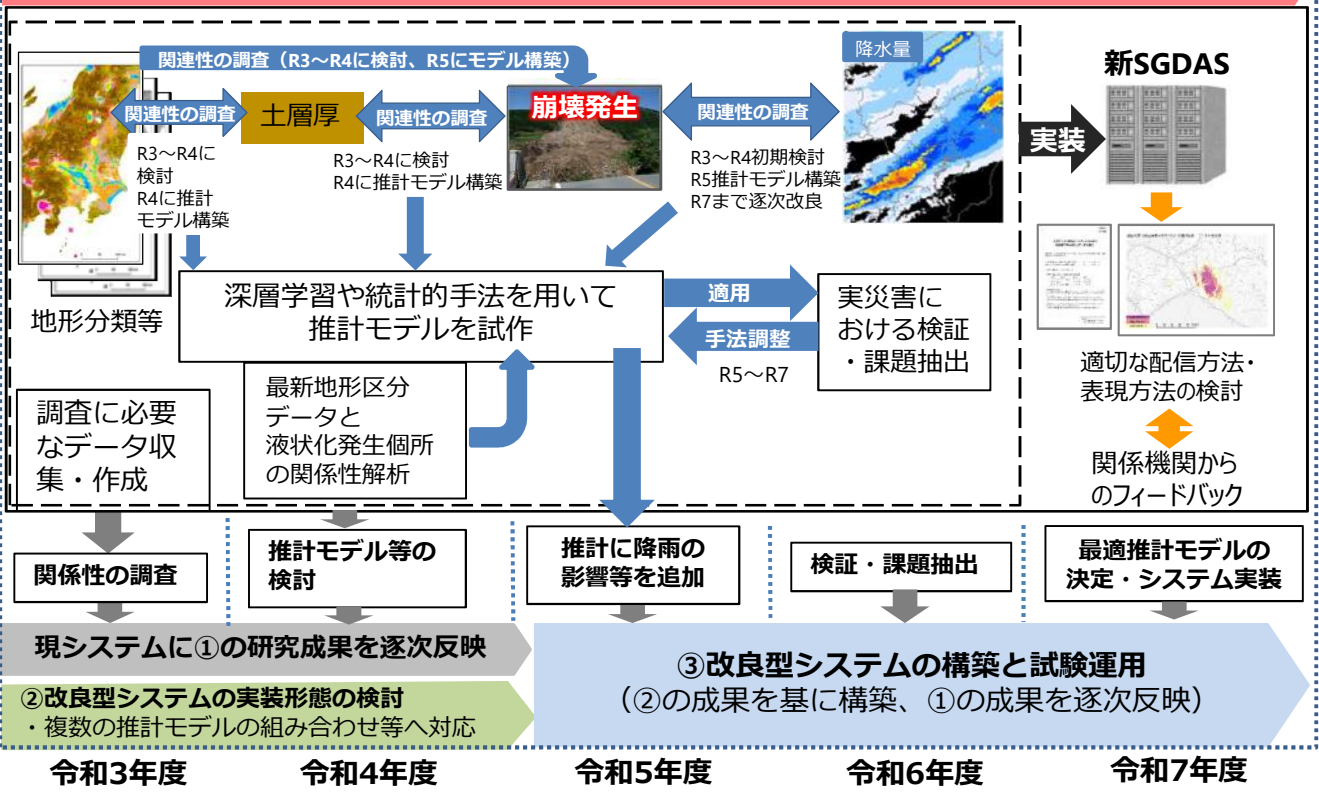
### ②改良型システムの実装形態の検討 (R3~4年度)

状況に応じた複数の推計モデルの組み合わせや、降雨量等の新たな動的パラメータの導入、崩壊と関連する新知見に基づく推計モデルの追加等、効率的な研究や運用に最適な実装形態を検討。

### ③改良型システムの構築と試験運用 (R5~7年度。②の成果を基に構築、①の成果を逐次反映)

②の成果を基にし①の成果を逐次反映した改良型システムの構築と試験運用を実施。

## ①推計精度向上のための推計手法改良



## 研究効果

### 大地震発生後15分以内に推計する地盤災害 (斜面災害・液状化) の推計精度向上

- ごく初期段階における、よりの確な初動対応方針の策定
  - TEC-FORCEの広域派遣における支援計画立案
  - 夜間に発生した場合、被害概況のよりの確な把握
- が可能に
- 国民の安全・安心の確保に貢献